

# 操作マニュアル

## DuraVision® FDF2304W-IP

カラー液晶モニター

### 重要

ご使用前には必ずこの操作マニュアル、設定マニュアルおよびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

•取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

<http://www.eizo.co.jp>



## マニュアルの記載内容について

	<b>セットアップマニュアル</b>	使用上の注意、およびネットワークカメラとの接続からカメラの画像を表示するまでの設定について説明しています。
	<b>操作マニュアル（本書）</b>	ネットワークカメラやライブ画面のメニューの操作について説明しています。
	<b>設定マニュアル</b>	ネットワークカメラの登録や機能の設定、モニターのシステム設定について説明しています。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# モニターについて

## クリーニングの仕方

### 注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

### 参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

## モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

# 目次

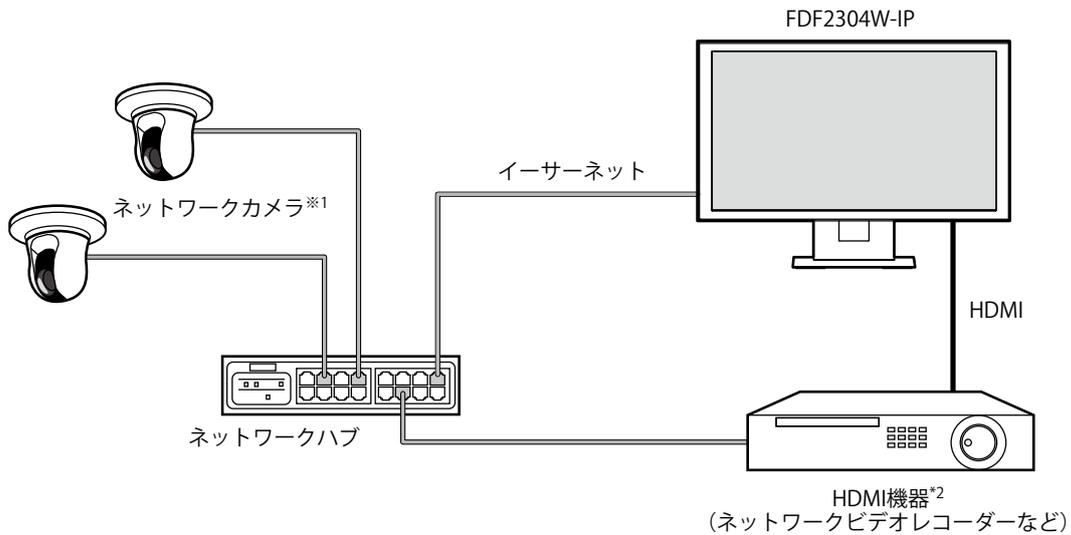
モニターについて.....	3
クリーニングの仕方.....	3
モニターを快適にご使用いただくために.....	3
目次.....	4
第1章 製品概要.....	5
1-1. システム構成.....	5
第2章 電源を入れる / 電源を切る.....	6
● 電源を入れる.....	6
● 電源を切る.....	6
第3章 操作する.....	7
3-1. リモコンについて.....	7
3-2. ライブ画面について.....	8
● メニューの基本操作方法.....	9
3-3. 画面のレイアウト / 表示ページを切り替える...12	
● 画面のレイアウトを切り替える.....	12
● 画面の表示ページを切り替える.....	13
3-4. Smart機能をオン / オフする.....	14
3-5. ネットワークカメラを操作する.....	14
● 操作の前に.....	14
● ネットワークカメラを操作する.....	15
3-6. 画面の明るさを調整する.....	17
3-7. 入力信号を切り替える.....	17
第4章 こんなときは.....	18
4-1. 画面が表示されない場合.....	18
4-2. 画面に関する症状.....	18
4-3. その他の症状.....	19
付録.....	20
商標.....	20
ライセンス / 著作権.....	20

# 第1章 製品概要

この製品は、最大16台のネットワークカメラ※1の画像を表示できるカラー液晶モニターです。

※1 画像をネットワーク信号に変換して伝送するカメラです。

## 1-1. システム構成



※1 ネットワークカメラは最大16台まで登録できます。

※2 HDMI機器 (ネットワークビデオレコーダーなど) は、必要に応じてご利用ください。

## 第2章 電源を入れる / 電源を切る

### ● 電源を入れる

#### 1. モニター背面の主電源スイッチを入れます。

工場出荷設定時は主電源スイッチが入っています。

#### 2. モニター前面の $\odot$ またはリモコンのPOWERを押します。

電源ランプが青色に点灯し、ライブ画面が表示されます。

(ライブ画面については、「3-2. ライブ画面について」(P.8)を参照してください。)

#### ■ 注意点

- 初期設定では、電源を入れてからライブ画面が表示されるまでに約1分かかります(起動中を示す回転バーが表示されます)。モニターの起動中は電源を切らないでください。
- モニターの初回起動時は、モニターやネットワークカメラを操作するためのメニューが表示されます。
- ネットワークカメラが登録されていないときは、ネットワークカメラ画像表示エリアに「未登録」のメッセージが表示されます。

#### ■ 参考

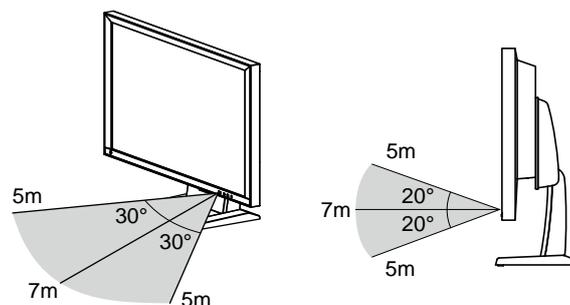
- 電源オフ時の状態を変更することによって、ライブ画面が表示されるまでの時間を短くすることもできます(クイックスタート)。詳細は、設定マニュアルを参照してください。

### ● 電源を切る

#### 1. モニター前面の $\odot$ またはリモコンのPOWERを押します。

#### ■ 注意点

- システムの終了中は、電源ランプが青色に点滅します。
- 電源オフ時の状態は、「クイックスタート」の設定によって異なります。詳細は、設定マニュアルを参照してください。
  - 設定が「オン」の場合：システムの一部が起動したままとなります。(電源ランプ：赤)
  - 設定が「オフ」の場合：システムが完全に終了します(初期設定)。(電源ランプ：消灯)
- モニターの主電源を切るときは、次の手順に従ってください。
  - 「クイックスタート」が「オン」に設定されている場合、「オフ」に変更します。
  - モニター前面の $\odot$ またはリモコンのPOWERを押して、電源を切ります。  
システムが終了し、電源ランプが消灯します。
  - 主電源スイッチを切ります。
- システムが完全に終了する前にモニターの主電源を切ると、故障の原因となります。
- リモコンは次の図の範囲内で使用してください。

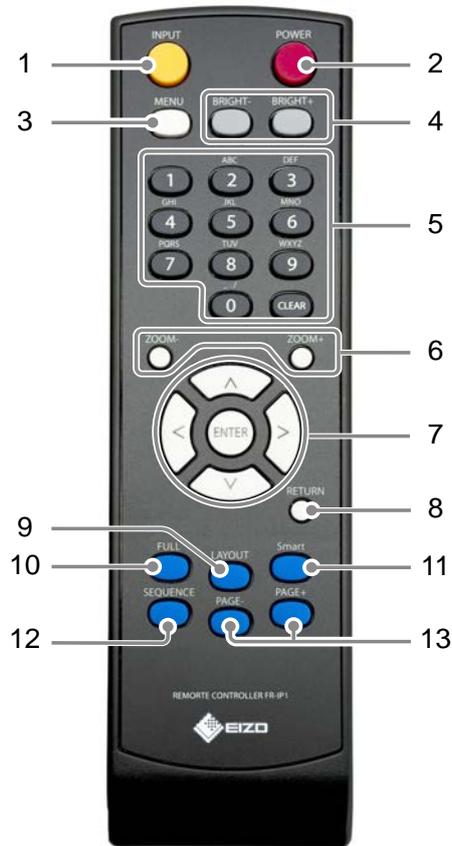


- 複数台のモニターを設置する場合は、リモコン操作が相互に影響しないよう間隔を空けてください。リモコンの信号を受信したすべてのモニターが同じ動作をします。

# 第3章 操作する

それぞれのメニューは、リモコンやUSBマウスを使って操作することができます。  
本章は、リモコン操作について説明します。USBマウスを使って操作する場合は、各項の参考を参照してください。USBマウスの接続については、「[メニューの基本操作方法](#)」(P.9)を参照してください。

## 3-1. リモコンについて

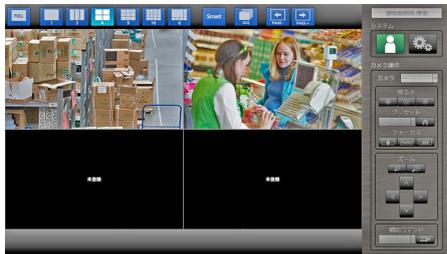


名称	詳細
1. INPUT	表示する入力信号を切り替えます。
2. POWER	電源のオン/オフを切り替えます。
3. MENU	モニターの調整メニューを表示/終了します。
4. BRIGHT-/BRIGHT+	モニター画面の明るさを調整します。
5. 数字ボタン (0~9)/CLEAR	数字や文字を入力するときに使用します。
6. ZOOM-/ZOOM+	ネットワークカメラの表示倍率を調節します。
7. ^/∨/</>, ENTER	ネットワークカメラの操作 (パン、チルト) や設定、モニターのシステム設定などをおこなうときに使用します。
8. RETURN	メニュー操作時、1つ上の階層に戻ります。
9. LAYOUT	ライブ画面のレイアウトを変更します。 押すたびに、1面 → 3面 → 4面 → 9面 → 16面 → 8面 → 1面 の順にレイアウトが切り替わります。
10. FULL	ライブ画面のメニューを表示/非表示します。
11. Smart	Smart機能のオンまたはオフを切り替えます。
12. SEQUENCE	カメラ画像のシーケンス表示のオンまたはオフを切り替えます。
13. PAGE-/PAGE+	ライブ画面に表示するカメラ画像のページを切り替えます。

## 3-2. ライブ画面について

モニターの電源を入れると、ライブ画面が表示されます。

ライブ画面には次の2つの状態があります。ライブ画面のメニューはFULLを押すことで表示、または非表示に切り替えることができます。



ライブ画面  
(カメラ画像とメニュー)



ライブ画面  
(カメラ画像のみ)

### 参考

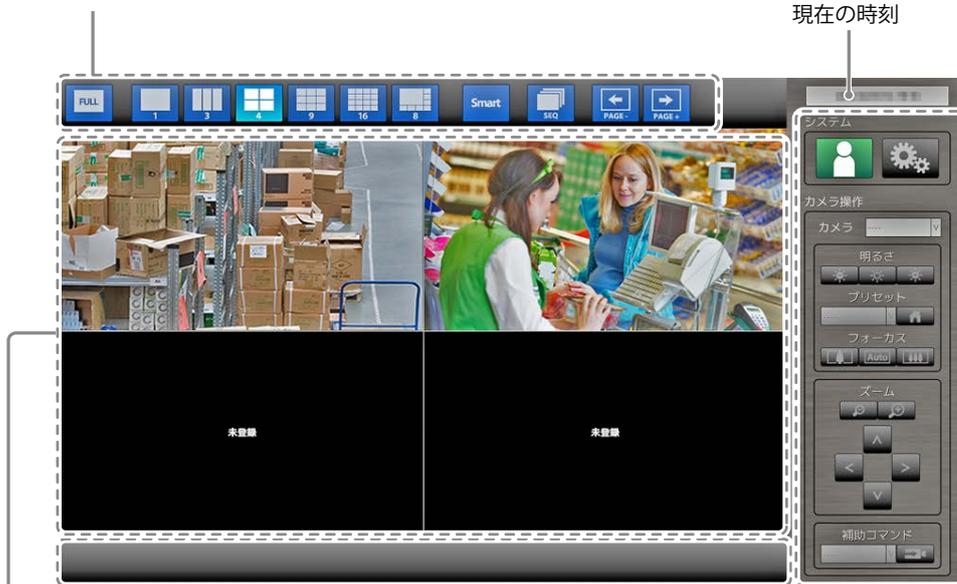
- Webブラウザからもライブ画面を操作することができます。Webブラウザからの操作については、設定マニュアルを参照してください。

## ● メニューの基本操作方法

メニューではネットワークカメラおよびモニターの操作、設定をおこないます。

### ライブ画面

#### 1. 表示メニュー



#### 2. システムメニュー / カメラ操作メニュー

メッセージ表示エリア  
(カメラ操作時などのエラーメッセージが表示されます。)

ネットワークカメラ画像表示エリア

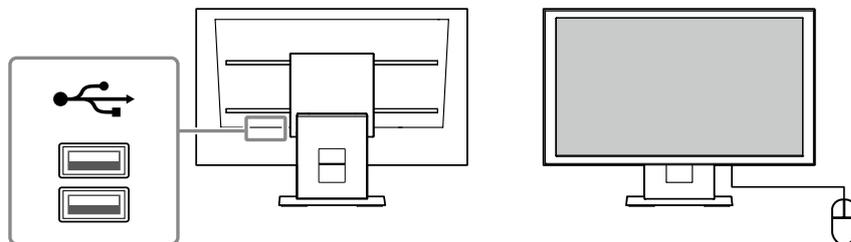
- ・カメラが登録されていない場合は「未登録」と表示されます。
- ・対応外の信号が入力されている場合は「通信エラー」と表示されます。

#### 注意点

- ・シーケンス表示が有効の場合、システムメニュー、カメラ操作メニューは操作することができません。

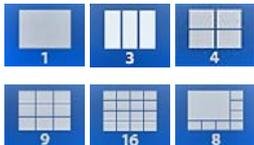
#### 参考

- ・ライブ画面のメニューが非表示の場合でもリモコンで表示メニューを操作することができます。
- ・USBマウスを使って操作する場合
  - モニター背面のUSBダウンストリームポートにマウスを接続します。



## 表示メニュー

ライブ画面に表示されるカメラ画像に関する操作ができます。

表示メニュー	リモコンボタン	詳細
	FULL	ライブ画面のメニューを表示/非表示します。
	LAYOUT	モニター画面のレイアウトを変更します。 押すたびに、1面 → 3面 → 4面 → 9面 → 16面 → 8面 → 1面の順にレイアウトが切り替わります。
	Smart	Smart機能 <sup>※1</sup> のオンまたはオフを切り替えます。 ※1 画像の視認性を向上する機能です。
	SEQUENCE	カメラ画像のシーケンス表示 <sup>※2</sup> のオンまたはオフを切り替えます。 ※2 表示ページを一定間隔で切り替えます。
	PAGE- / PAGE+	ライブ画面に表示するカメラ画像のページを切り替えます。

## システムメニュー / カメラ操作メニュー

システムメニューでは、システムへのログインおよびシステムの設定ができます。  
カメラ操作メニューでは、モニター側からネットワークカメラを操作することができます。

項目	操作方法
項目を選択するとき	△/▽/◀/▶を押します。
選択した項目を決定するとき	ENTERを押します。
設定を変更するとき	<p><b>設定ボタンの場合：</b> ENTERを押します。（ズーム、位置調整を除く）</p> <p><b>リストボックスの場合：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ENTERを押します。 リストボックスが緑色に反転します。</li> <li>△または▽で設定を選択します。</li> <li>ENTERを押します。</li> </ol>
1つ上の階層に戻るとき	<p>RETURNを押します。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設定中の変更を取り消す場合は、RETURNを押します。</li> </ul>

## 文字の入力方法

### 1. ENTER を押します。

テキストボックスが緑色に反転します。

### 2. 数字ボタン (0~9) を押します。

ボタンを続けて押すと、文字が切り替わります。文字の入力順序は、次の表を参照してください。

ボタン	入力文字									
0	0	-	_	:	.	/	(スペース)			
1	1									
2	a	b	c	A	B	C	2			
3	d	e	f	D	E	F	3			
4	g	h	i	G	H	I	4			
5	j	k	l	J	K	L	5			
6	m	n	o	M	N	O	6			
7	p	q	r	s	P	Q	R	S	7	
8	t	u	v	T	U	V	8			
9	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9	

次の文字を入力するときは > を押します。

文字を削除するときは CLEAR を押します。

### 3. ENTER を押します。

#### 参考

- ネットワークアドレスの入力方法  
ネットワークアドレスのテキストボックスは、「。」で区切られています。
  - 3桁の数値を入力すると、自動的に次の入力位置に移動します。
  - 2桁や1桁の数値の場合は、> を押すと次の入力位置に移動します。
- USBマウスを使用している場合
  - 「。」を入力すると次の入力位置に移動します。
  - 文字の入力は、文字入力画面の「キーボード」をクリックします。画面にキーボードが表示されますので、キーをクリックして入力します。

#### 注意点

- 文字入力画面の「キーボード」はリモコンで選択することができません。

#### 注意点

- この製品にアクセスするユーザーのレベルによって、メニューを操作できる範囲が異なります。ユーザーレベルには「LIVE」、「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」があります。それぞれのレベルで操作できる範囲は次のとおりです。

(○：操作可、-：操作不可)

レベル	操作 表示メニュー	システムメニュー		カメラ操作 メニュー
		ログイン操作	システム設定	
LIVE	○	○	-	-
CAMERA CONTROL	○	○	-	○
ADMIN	○	○	○	○

- 電源オン時およびログオフ後のユーザーレベルは「LIVE」です。
- ユーザーレベルの設定については、設定マニュアルを参照してください。

## 3-3. 画面のレイアウト / 表示ページを切り替える

### ● 画面のレイアウトを切り替える

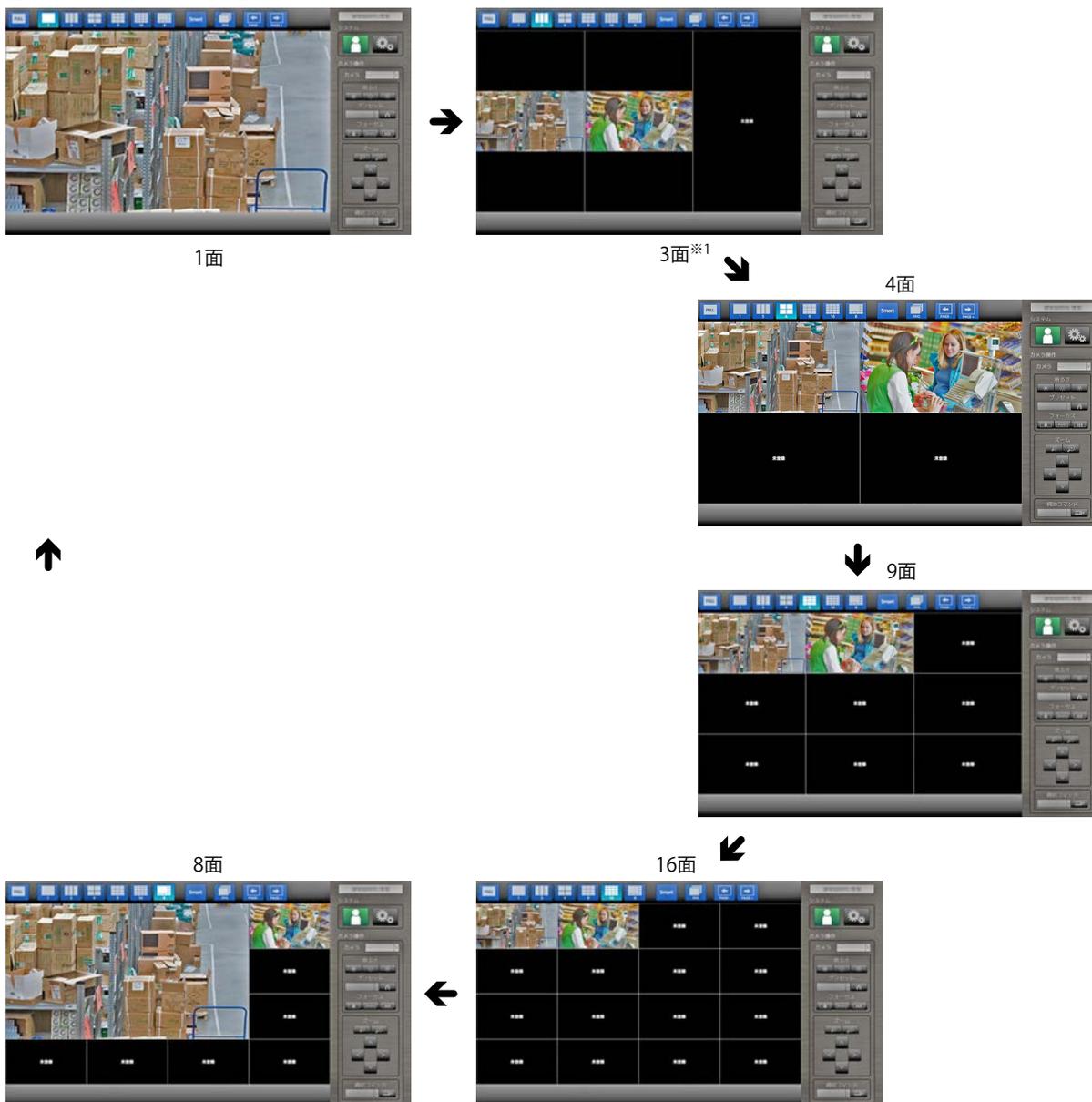
ライブ画面に表示するカメラ画像の数を切り替えます。

#### 操作方法

1. リモコンの LAYOUT を押します。

ボタンを押すたびに、画面のレイアウトが切り替わります。USBマウスの場合は、表示メニューのレイアウトアイコンを選択することで画面のレイアウトが切り替わります。

例：カメラ画像が16：9の場合



※1 カメラ画像が16:9の場合にアスペクト比モード「アスペクト」を設定した表示です（詳細は、設定マニュアル「2-4. カメラ画像の表示位置を設定する」を参照してください）。

#### 注意点

画面レイアウトを3面表示する場合：

- ・ アクシス社製ネットワークカメラのみ、画像比率を保つ縦長の画像を表示します。画像を表示する場合はネットワークカメラの設定が必要です。設定の詳細は、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

#### 参考

- ・ ライブ画面のネットワークカメラ画像を選択してリモコンの LAYOUT を押すと、選択したネットワークカメラの画像が1面表示されます。

## ● 画面の表示ページを切り替える

画面のレイアウトが16面以外の場合は、ページを切り替えてカメラ画像を表示します。ページの切り替えは、手動で切り替える方法と、一定の間隔で自動的に切り替える方法（シーケンス表示）があります。

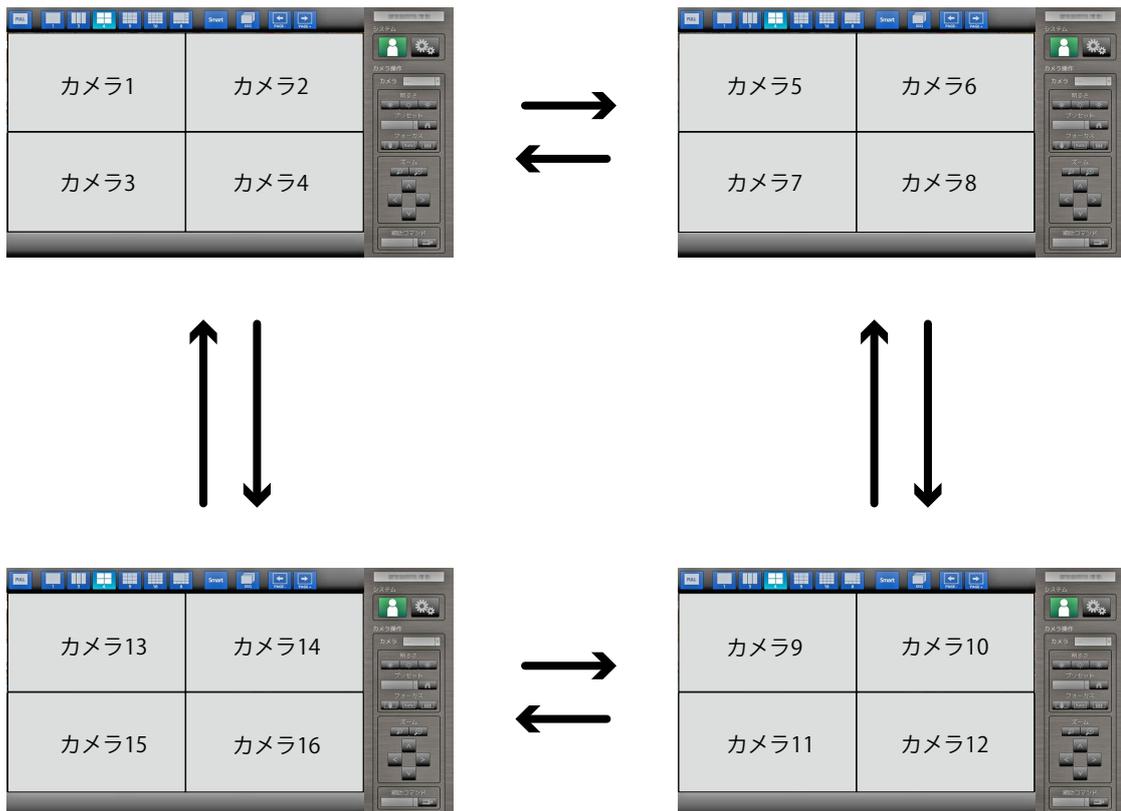
### 手動で切り替える

#### 操作方法

1. リモコンのPAGE- またはPAGE+ を押します。

ボタンを押すたびに、画面に表示されるページが切り替わります。USBマウスの場合、表示メニューのPAGE- またはPAGE+ を選択します。

例：画面のレイアウトが4面の場合



### 自動的に切り替える（シーケンス表示）

#### 操作方法

1. リモコンのSEQUENCE を押します。

指定された間隔で、画面に表示されるページが自動的に切り替わります。

#### 参考

- ページを切り替える間隔を変更することもできます（初期設定：5秒）。表示間隔の変更方法については、設定マニュアルを参照してください。
- シーケンス表示を停止するときは、再度 SEQUENCE を押してください。

#### 注意点

- シーケンス表示中はカメラを操作したり、設定画面を表示することはできません。シーケンス表示を停止してからおこなってください。設定画面の表示方法については、設定マニュアルを参照してください。
- シーケンス表示はネットワークカメラが登録されたページのみ表示されます。カメラが登録されていないページは表示されません。

## 3-4. Smart機能をオン/オフする

あらかじめ設定したSmart機能の有効、無効を切り替えます。Smart機能を利用すると、カメラ画像の視認性を向上させることができます。

### 操作方法

1. リモコンのSmartを押します。  
ボタンを押すたびに、Smart機能の有効、無効が切り替わります。

### 参考

- Smart機能の設定方法については、設定マニュアルを参照してください。

## 3-5. ネットワークカメラを操作する

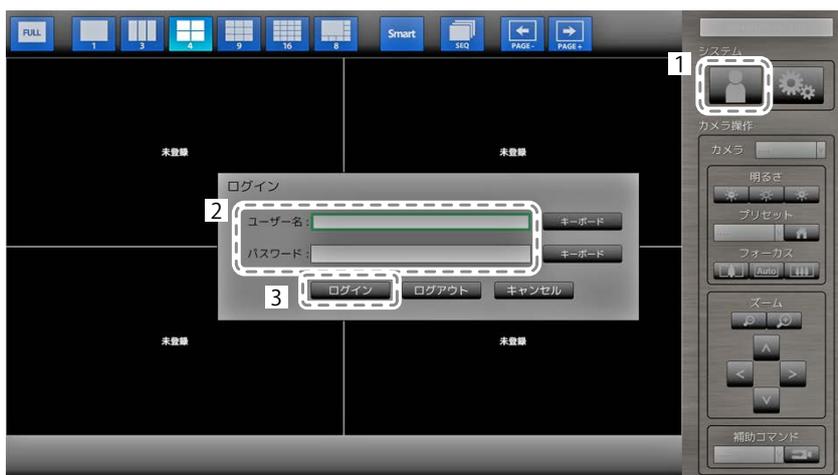
### ● 操作の前に

ネットワークカメラの操作は、この製品にアクセスしているユーザーのレベルが「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」のときのみ有効です。

はじめに上記レベルのユーザーで、システムにログインしてください。

### 操作方法

1. 「システム」の  (ログイン) を選択します。  
ログイン画面が表示されます。



2. ユーザー名とパスワードを入力します。
3. 「ログイン」を選択します。  
ライブ画面に戻ります。
4. リモコンのRETURNを押します。  
「システム」の枠が選択された状態（緑色）になります。

### 参考

- 文字の入力方法は「[文字の入力方法](#)」(P.11)を参照してください。
- 初期設定では次のユーザー情報が設定されています。
  - ユーザー名：「admin」
  - パスワード：「admin」
  - ユーザーレベル：「ADMIN」
- ユーザーの設定方法については、設定マニュアルを参照してください。
- 第三者によるカメラ操作や設定の改ざんを防ぐため、操作終了後はログアウトすることをお勧めします。

### 注意点

- ログイン中にモニターの電源を切ると、自動的にシステムからログアウトされます。この場合、Webブラウザからのアクセスもログアウトされます。

## ● ネットワークカメラを操作する

### 操作方法



**1. カメラ操作メニューを選択します。**

1. RETURN を押します。
2. ^ または V でカメラ操作メニューを選択して ENTER を押します。

**2. 操作するネットワークカメラを選択します。**

1. 「カメラ」が選択されていることを確認して ENTER を押します。
2. ^ または V でライブ画面に表示されているネットワークカメラを選択して ENTER を押します。選択されたカメラ画像の枠線が太くなります。
3. RETURN を押します。

**3. 操作したい機能を選択します。**

1. ^ または V で操作したい機能を選択します。
2. ENTER を押します。

**4. 各機能を操作します。**

#### 注意点

- お使いのネットワークカメラによっては、操作できない機能があります。

#### 参考

- 操作したいネットワークカメラをリモコンの数字ボタンで選択することができます（画面番号を入力します）。また、ライブ画面の画像をUSBマウスでクリックすることで選択することもできます。
- ライブ画面の表示位置を変更することができます。詳細は、設定マニュアルを参照してください。

## 明るさ / プリセット / フォーカス

機能	内容
明るさ	<p>ネットワークカメラの明るさを調整します。</p> <p>1. 設定ボタンを選択してENTERを押します。</p> <p> : ENTERを押すたびに、画像が暗くなります。</p> <p> : 明るさを初期設定に戻します。*1</p> <p> : ENTERを押すたびに、画像が明るくなります。</p>
プリセット	<p>ネットワークカメラの向きを、あらかじめ登録した位置に移動します。</p> <p>1. 「プリセット」のリストボックスを選択してENTERを押します。</p> <p>2. <math>\wedge</math>または<math>\vee</math>でプリセット番号を選択してENTERを押します。</p> <p><b>参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プリセット位置の登録については、設定マニュアルを参照してください。</li> <li>を選択すると、ネットワークカメラの向きがホームポジションに移動します。</li> </ul>
フォーカス	<p>ネットワークカメラの焦点を調節します。</p> <p>1. 設定ボタンを選択してENTERを押します。</p> <p> : ENTERを押すたびに、焦点が近くなります。*2</p> <p> : 焦点を自動的に調節します。*3</p> <p> : ENTERを押すたびに、焦点が遠くなります。*2</p>

\*1 「プロトコル」が「ONVIF」、「AXIS」のネットワークカメラの場合は、設定できません。

\*2 「プロトコル」が「ONVIF」、「AXIS」のネットワークカメラの場合は、手動調整モードに切り替わります。

\*3 「プロトコル」が「ONVIF」、「AXIS」のネットワークカメラの場合は、自動調整モードに切り替わります。

## ズーム / ポジション

機能	内容
ズーム	<p>ネットワークカメラの表示倍率を調節します。</p> <p>1. ZOOM- / ZOOM+を押します。</p> <p> : ZOOM-を押すたびに、ズームアウトします。</p> <p> : ZOOM+を押すたびに、ズームインします。</p>
ポジション	<p>ネットワークカメラの撮影位置を調節します。</p> <p>1. <math>\lt</math> / <math>\gt</math> / <math>\wedge</math> / <math>\vee</math>を押します。</p> <p>  : 水平位置を調節します (パン)。</p> <p>  : 垂直位置を調節します (チルト)。</p>

## 補助コマンド

機能	内容
補助コマンド	<p>ネットワークカメラの補助機能进行操作します。</p> <p>1. 「補助コマンド」のリストボックスを選択してENTERを押します。*1</p> <p>2. <math>\wedge</math>または<math>\vee</math>で補助コマンドを選択してENTERを押します。</p> <p> → </p>

\*1 補助コマンドは、ONVIFの特定機器のみ操作可能です。

### 参考

- USBマウスで操作している場合は、画像の中心に表示したい場所をクリックすると、自動的にネットワークカメラの位置が調節されます (パナソニック社製ネットワークカメラ、またはアクシス社製ネットワークカメラで、パン、チルト、ズームの機能が搭載されている場合のみ対応します)。

## 3-6. 画面の明るさを調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、モニター画面の明るさを調整します。

### 設定範囲

0～100

### 設定方法

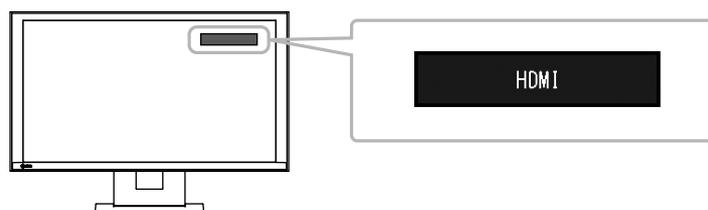
1. リモコンの BRIGHT- または BRIGHT+ を押します。  
明るさ調整メニューが表示されます。



2. BRIGHT- または BRIGHT+ で設定します。  
メニューは約5秒後に自動的に消えます。

## 3-7. 入力信号を切り替える

リモコンの INPUT を押すと、入力信号が切り替わります。  
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



### 参考

- 本体操作ボタンの SIGNAL で入力を切り替えることもできます。

## 第4章 こんなときは

### 4-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードは正しく接続されていますか。</li><li>主電源を入れてください。</li><li>モニター前面の  またはリモコンのPOWERを押してください。</li><li>主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。</li></ul>
・電源ランプが点灯：青色	<ul style="list-style-type: none"><li>画面の明るさを調整してみてください（詳細は、セットアップマニュアルを参照してください）</li></ul>
・電源ランプが点灯：青色（HDMI入力時）	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMIケーブルは正しく接続されていますか。</li><li>接続機器の電源は入っていますか。</li><li>HDMIケーブルを接続し直してみてください（詳細は、セットアップマニュアルを参照してください）。</li></ul>

### 4-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"><li>画面の明るさを調整してください（詳細は、セットアップマニュアルを参照してください）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にご相談ください。）</li></ul>
2. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"><li>この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。</li></ul>
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"><li>これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。</li></ul>
4. 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パネルを押し跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMIポートに切り替えて、画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。</li></ul>

## 4-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. モニター前面の操作ボタンが効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（ロックの解除方法は、設定マニュアルを参照してください）。</li></ul>
2. リモコンボタンが効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコン受光部に向けていますか。</li><li>リモコン受光部との間に障害物はありませんか。</li><li>乾電池が消耗していませんか。</li><li>乾電池を入れる方向を間違っていないか。</li></ul>
3. マウスが効かない	<ul style="list-style-type: none"><li>USBケーブルは正しく接続していますか。</li><li>USBケーブルを接続し直してください。</li><li>マウスはモニターに直接接続されていますか。</li></ul>
4. リモコンやマウスの反応が悪い	<ul style="list-style-type: none"><li>ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてください（詳細は、設定マニュアルを参照してください）。</li></ul>
5. ネットワークカメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"><li>カメラ操作が可能なレベルのユーザーで、システムにログインしていますか（詳細は、設定マニュアルを参照してください）。</li><li>シーケンス表示中はネットワークカメラの操作はできません（詳細は、設定マニュアルを参照してください）。</li></ul>
6. USBメモリーが認識されない	<ul style="list-style-type: none"><li>USBメモリーは正しく接続していますか。</li><li>USBメモリーを接続し直してください。</li><li>USBメモリーはモニターに直接接続されていますか。</li></ul>

# 付録

## 商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、Mac OS、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

ONVIFはONVIF Inc.の商標です。

i-proはパナソニック株式会社の登録商標です。

AXISはAxis ABのスウェーデンおよびその他の国における登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、CuratOR、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、Re/Vue、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

## ライセンス / 著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースソフトウェアのうちGPL（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE）の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合には、GPLの利用許諾条件に従い、当社は次のコンタクト情報宛てにコンタクトしてきた個人、団体に対し、お買い上げ後、少なくとも3年間、実費にてGPLソフトウェアに対応するソースコードを、CD-ROMなどの媒体により頒布いたします。

また、LGPL（GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合についても、上述のGPLの場合と同様の手続きにてソースコードを頒布いたします。

### コンタクト情報

<http://www.eizo.co.jp/support/product/contact.html>

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、この製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、この製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

この製品はSDカードスロットを本体内部に備えています。ただし、保守メンテナンス用のため、使用することはできません。



